

『論語 人間を磨く言葉』 原稿掲載のお願い

湧くわく本心塾 名古屋 川井信一
& 湧くわく本心塾 編集チーム

◆はじめに

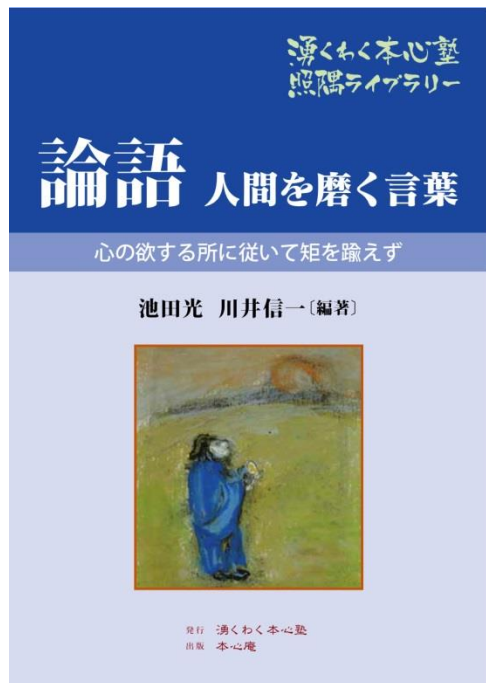
湧くわく本心塾という勉強会では、
2012年に『天風哲学の基本と実践』を出版いたしました。

さて、2013年度は、『論語 人間を磨く言葉』という書籍を出版いたしたいと考えております。

今回は、石彫家である川井信一と、塾長の池田光が編集することになりました。

広く、ご玉稿をいただき、価値ある一冊にしたいと考えております。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



◆体裁 A5判 (A4の半分のサイズです)

本文予定頁96ページ
※ページ数の減増があります。

◆予価 予価(本体1200円+税)

湧くわく本心塾サイトや、ネット書店「アマゾン」で販売します。
※ページ数が増減した場合は、価格変更することがあります。

◆もくじ

はじめに
第1部 大凡の人——孔子
第2部 本心に響く論語の言葉

◆発行部数 1000部(予定)

◆発行 湧くわく本心塾 出版 本心庵

◆湧くわく本心塾は、「潜学講座」を軸にして、修己治人の学を修めることを目的とし、一隅を照らす人たろうと志すものです。

くわしくは、サイト <http://honsinjuku.com/> をご覧ください。

◆原稿掲載のお願い

★『論語』のなかから、好きなお言葉を選んでいただき、ご自身の人生とからめてエッセイ風に書かれるなど、自由にお書きください。原稿は、32字×28行内でおまとめください。
※28行には、『論語』の言葉、行間、名前の行も含みます。

★最終頁に、プロフィール(40字×3行)を掲載させていただきます。

★川井信一が、『論語』の言葉を書かせていただきます。

★書籍作りの補助として、1万円(塾生は7千円)をご寄贈いただきたく思います。

★掲載した本書を、4冊ご提供いたします。

★紙面イメージ

テーマ	『論語』の言葉	32字×28行 行間も含めて28行です。
邪念を払って、本心に生きる	文字数参考 32文字×28行(名前の行を含む)	
	<p>おもよこしまひ 思ひ邪無し (為政第二)</p> <p>人の心には、誰しも穢れのない「本心」があります。僕は、本心というのは、まさに「思ひ邪無し」そのものだと思うのです。 「思ひ邪無し」という言葉は、『論語』為政第二に出てきます。</p> <p>子曰く、詩三百、一言以て之を蔽えば、曰く、思ひ邪無し。</p> <p>ここで、詩というのは、四書五経の『詩経』のことです。この『詩経』の三百篇もの詩というのは、多種多様ではあるが、一言で表現するならば、それは、心の思いに邪念がないという意味だと思います。</p> <p>僕は、ここから二つのことを教えられました。</p> <p>①『詩経』には、本心から発した詩で満たされているということ、 ②三百篇もの多様な詩を一句でまとめるという「一言」の力です。</p> <p>なので、「本心とはどんなものか」を味わうためにも『詩経』を読みたいし、いろんなものを「一言で断定する」ということを意識的にやってみたいと思います。</p> <p>じつは、僕は、中村天風先生の本が好きで、好んで読みます。天風先生は、こんなことを言っています。 「信念は、自分の心の中に生まれながらにして、靈性意識の中に入っているものであるから、雑念妄念を除いて、心の正体を出しさえすればぐんぐん出てくるのだ」(『運命を拓く』)</p> <p>と。雑念や妄念を除く、つまり邪念を除くことで顕れるのが、「思ひ邪無し」です。これが「心の正体」です。そして、こういう邪なものがない本心が顕れてこそ、「信念」がぐんぐん出てくると天風先生は言われるのです。信念を強くするためにも、僕は雑念妄念を除いて、「思ひ邪無し」の境地に至りたいと思っています。(プロコン太郎)</p>	

川井信一が、『論語』の言葉を、右の文章イメージに合わせて書きます。